Modeling Guitar Amplifier

VTX150

Neodymium

取扱説明書

Ⓙ ①

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

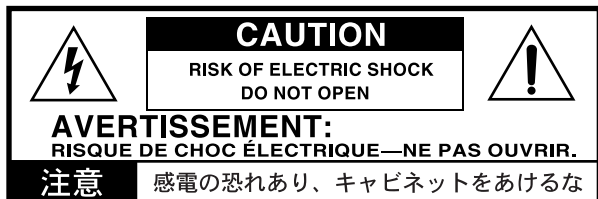
マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

AVERTISSEMENT:
RISQUE DE CHOC ÉLECTRIQUE—NE PAS OUVRIR.

注意　感電の恐れあり、キャビネットをあけるな

マークには次のような意味があります。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。 記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

この注意事項を無視した取り扱いをすると、
死亡や重傷を負う可能性があります。

- **電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。**
- **電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。**
  感電やショートの恐れがあります。
- **本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。**

- **次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。**
  ○ 電源コードやプラグが破損したとき
  ○ 異物が内部に入ったとき
  ○ 製品に異常や故障が生じたとき
  修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。

- **本製品を分解したり改造したりしない。**

- **修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。**
- **電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。**
  電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- **大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。**
  大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。
  万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- **本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。**
- **温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。**
- **振動の多い場所で使用や保管はしない。**
- **ホコリの多い場所で使用や保管はしない。**

- **風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。**

- **雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。**
- **本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。**
- **本製品に液体をこぼさない。**

- **濡れた手で本製品を使用しない。**

⚠注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性
または物理的損害が発生する可能性があります。

- **正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。**
- **ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。**
  ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
  本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- **外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。**
- **電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。**

- **本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。**
  電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。

- **付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。**
  付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- **他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。**
  本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- **スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。**
  故障の原因になります。
- **外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。**
- **不安定な場所に置かない。**
  本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- **本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。**
  本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- **本製品の隙間に指などを入れない。**
  お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- **地震時は本製品に近づかない。**
- **本製品に前後方向から無理な力を加えない。**
  本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

目 次

はじめに

ようこそ!

このたびはVOX Valvetronix Proシリーズ･モデリング･ギター･アンプ**VTX150 Neodymium**をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。
それでは、本機の素晴しいギター･サウンドをご堪能ください。

おもな特長

- 本機はVOX AC30などでパワー管として使われるEL84（6BQ5）を取り入れた、新しいValve Reactorパワー･アンプ回路を搭載することによって、「本物のチューブ･アンプ･サウンド」を作り出し、オリジナル･アンプの感触やトーンを生み出します。
- 高度なモデリング･テクノロジーによるアンプ･モデルを44種類搭載しています。
- ハイクオリティなエフェクト25種を内蔵し、ノイズ･リダクションを含め最大4種（複合エフェクトを利用すれば最大5種）のエフェクトを同時に使用することができます。
- アンプやエフェクトを駆使したサウンドをプログラムとして8プログラム（2バンク×4チャンネル）に保存することができます。これらはトップ･パネルのスイッチやリア･パネルに接続したフット･スイッチで、演奏中にも簡単に切り替えることができます（チャンネル･セレクト･モード）。また、各アンプ･モデルにつき、ベーシック、エフェクト、ソングの3種類のプリセット･プログラムが用意されています（プリセット･モード）。ソング･プログラムでは、著名なギタリストの演奏するヒット曲の音色を再現しています。
- マニュアル･モードを装備し、通常のギター･アンプのように使用することができます。ツマミが指している物理的な位置が、そのままサウンドに反映されます。
- オプション（別売）のVOX VC-12SVフット･コントローラー、またはVOX VFS5フット･スイッチを接続すると、足元でプログラムの切り替えやエフェクトのオン/オフ、ディレイ･タイムやモジュレーション･スピードのタップ･テンポが操作できます。VC-12SV接続時には、保存または選択できるプログラムが16に増えるとともに、ワウ･ペダルやボリューム･ペダルのコントロールも可能になり、ライブ･パフォーマンスなどに威力を発揮します。
- パワー･レベル･コントロールを装備し、パワー･アンプの出力ワット数を調整することができます。
- エクステンション･スピーカー･アウト端子を装備しています。お気に入りのギター･スピーカー･キャビネット（150W 8Ω）を接続することにより、最大300Wもの出力が得られます。
- エフェクト･ループ端子を装備し、外部エフェクターをループ接続することができます。
- オート･チューナーを内蔵しています。INPUT端子に接続したギターのチューニングが可能です。
- AUX IN端子を装備しています。CD/MP3プレイヤーなどを接続し、ギターと同時に使用することができます。

クイック・スタート編

新しいアンプを一刻も早く使ってみたい人のために、このクイック・スタート編を用意しました。

また本書には、Valvetronix Proアンプを最大限に活用する上で役に立つ内容が記載されています。クイック・スタート編を読んでとりあえず弾いたあとは、必ず本書の残りをお読みください。

ヒント: 「各部の名称と機能」(p.7)にトップ・パネルとリア・パネルの図がありますので、これらを見ながら操作してみてください。

セットアップ

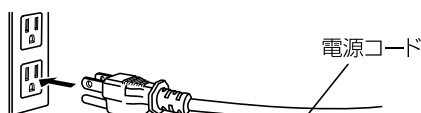
1. 本機のMASTERボリューム(p.8)を最小レベルに設定します。

2. 付属の電源コードをリア・パネルのAC電源端子に接続してから、電源コードのもう一端をコンセントに接続します。

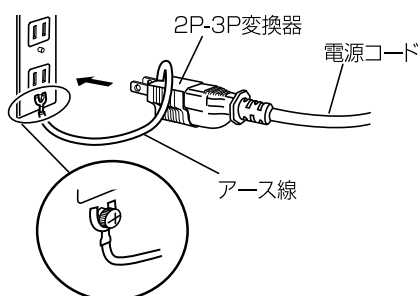
感電と機器の損傷を防ぐために、アース接続を確実に行ってください。

注意: 電源は必ずAC100Vを使用してください。

接地極付きコンセントに接続する場合

接地極付きコンセントに電源コードのプラグをそのまま差し込んでください。

アース端子付きコンセントに接続する場合

電源コードのプラグに、2P-3P変換器を取り付けます。そして、コンセントのアース端子にアース線を接続し、2P-3P変換器のプラグを差し込みます。

警告: アース接続は、コンセントにプラグを差し込む前に行ってください。また、アース接続を外すときは、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。

2P-3P変換器のアース線のU字端子にカバーが付いている場合は、カバーをはずして使用してください。

3. ギターに接続したケーブルをトップ·パネルのINPUT端子に接続します。

4. POWERスイッチをオンにし、電源を入れます。

5. MASTERボリュームをゆっくりと回して、音量を調整します。

ヒント: POWER LEVELコントロールは、パワー·アンプの出力レベルをコントロールします。

注意: 真空管が温まるまでの数十秒間、音が出ない場合があります。これは故障ではありません。

プリセット・プログラムのサウンドを聞く

1. トップ·パネルのPRESETスイッチを押します。
PRESET LEDが点灯します(プリセット·モード)。

2. AMPセレクターを回してアンプ·モデルを選択します。
各アンプ·モデルの代表的なサウンドに設定されたプリセット·プログラムが呼び出され、GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSやエフェクト等の設定が自動的に切り替わります。

ヒント: アンプ·モデルは、4つのバンクにそれぞれ11種類(計44種類)納められています。バンクを切り替えるにはAMPスイッチを押します。押す度にAMP LEDの色がグリーン、オレンジ、レッド、ブルーに変化し、アンプ·バンクがSTD、SPL、CST、EXTに切り替わります。44種類の各アンプ·モデルには、それぞれ3つのプリセット·プログラムが納められています(計132プログラム)。プリセット·モードでは、PRESETスイッチを押す度にPRESET LEDの色がグリーン、オレンジ、レッドと変化し、プリセット·プログラム1(ベーシック)、2(エフェクト)、3(ソング)が切り替わります。

ソング·プログラムでは、著名なギタリストの演奏するヒット曲の音色を再現しています。詳しくは「ソング·プリセット·プログラム」(p.36)を参照してください。

ユーザー・プログラムのサウンドを聞く

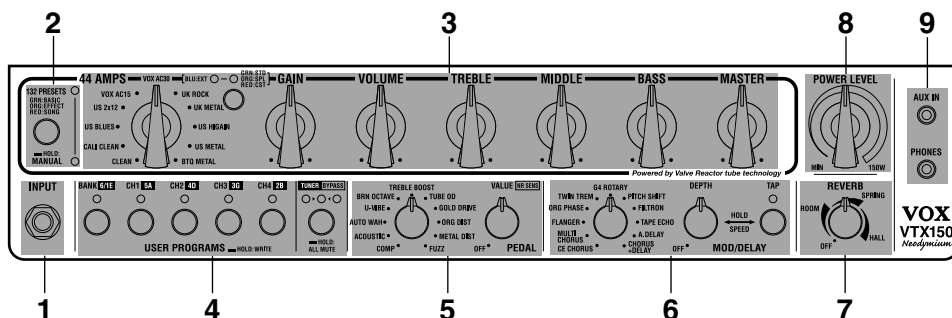
1. トップ·パネルのCHANNELスイッチ(CH1、CH2、CH3、CH4のいずれか)を押します。
押したCHANNELスイッチのLEDが点灯し、各チャンネルに設定されているユーザー·プログラムが呼び出されます(チャンネル·セレクト·モード)。

ヒント: ユーザー·プログラムは、2つのバンクにそれぞれ4チャンネル(計8プログラム)納められています。バンクを切り替えるには、CHANNEL BANKスイッチを押します。押す度にBANK LEDの色がグリーンまたはレッドに変化し、チャンネル·バンク1、2が切り替わります。
オプション(別売)のVOX VC-12SVフット·コントローラーの接続時には、4つのバンク(計16プログラム)が使用できます。バンク3、4に切り替えるにはVC-12SVのBANK UP/DOWNスイッチ、フット·スイッチ[1]〜[4]を使用します。

ヒント: ユーザー·プログラムには、好みの音色を記憶させることができます。詳しくは「プログラムを保存する」(p.15)を参照してください。

各部の名称と機能

本章では、トップ・パネルとリア・パネル上のスイッチや端子類について説明します。

トップ・パネル

1.インプット・セクション

INPUT端子

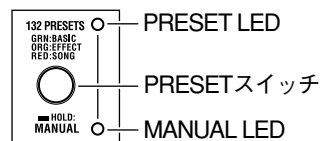
ギターを接続します。

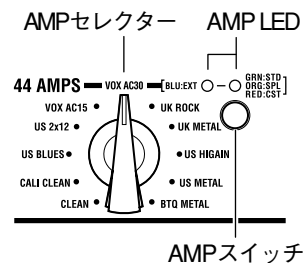
2.プリセット / マニュアル・セクション

PRESETスイッチ、PRESET LED、MANUAL LED

プリセット・モード、マニュアル・モードへの切り替えと、プリセット・プログラム（ベーシック、エフェクト、ソング）の選択に使用します。PRESETスイッチを押すたびに、ベーシック→エフェクト→ソングと切り替わります。PRESETスイッチを1秒以上押し続けると、マニュアル・モードに切り替わります。

プリセット・モードは、AMPスイッチとAMPセレクターによって各アンプ・モデルの代表的なサウンド（プリセット・プログラム）を呼び出すモードです。プリセット・モードのときPRESET LEDがグリーン（ベーシック）、オレンジ（エフェクト）、レッド（ソング）のいずれかの色で点灯します。

マニュアル・モードでは、VALUE、DEPTHツマミを除くすべてのツマミの位置がそのままサウンドに反映されます。通常のギター・アンプと同じ感覚で本機を扱うことができます。マニュアル・モードのときはMANUAL LEDが点灯します。

3.アンプ・セクション

アンプの設定を行ないます。VOXの伝統を受け継いだ「チキン・ヘッド」の形をしたポインター（ツマミ）を採用しました。

AMPスイッチ、セレクター、LED

アンプ・モデルを選びます。

AMPスイッチを押すたびに、バンクとAMP LEDが次のように切り替わります。

STD（Standard）：グリーン
SPL（Special）：オレンジ
CST（Custom）：レッド
EXT（Extra）：ブルー

AMPセレクターで各アンプ・バンク内のモデルを選択します。

選んだアンプ・モデルによって、ゲイン回路、トーン・コントロールの特性や回路上の配置が切り替わります。

プリセット・モード（PRESET LEDが点灯しているとき）では、各アンプ・モデルの代表的なサウンドとエフェクトの設定を含めたプリセット・プログラムを呼び出すことができます。

GAINコントロール

選択したアンプ・モデルのプリアンプ・ゲインを調整します。

VOLUMEコントロール

選択したアンプ・モデルのボリュームを調整します。

TREBLE、MIDDLE、BASSコントロール

高音、中音、低音の音色を調整します。選択したアンプ・モデルによって、異なった音色変化になります。

MASTERボリューム

プリアンプからValve Reactorパワー・アンプに出力するボリュームを調整します。この設定によってValve Reactorの歪み量が変化します。

注意: MASTERボリュームの設定はプログラムされません。

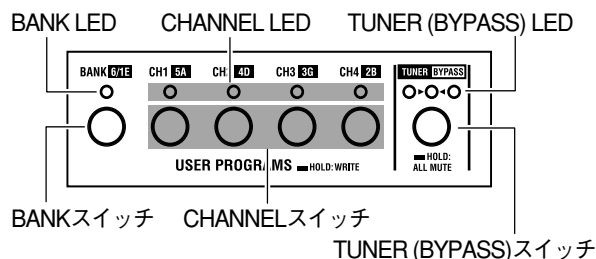
注意: Valve Reactorの歪み量は、GAINコントロールやVOLUMEコントロールによっても変化します。設定によっては、ほとんど歪まなくなります。

4. チャンネル/チューナー・セクション

BANK、CHANNELスイッチ、LED

BANKスイッチでチャンネル・バンクを選択します。チャンネル・セレクト・モードのとき、BANK LEDがグリーンまたはレッドに点灯します。

CHANNELスイッチでチャンネルを選択します。選択されているチャンネルのLEDが点灯します。

新しいプログラムを保存するときは、保存先となるCHANNELスイッチを2秒以上押し続けます。プログラムを別のバンクに保存するときは、BANKスイッチを0.5秒以上（BANK LEDが点滅をはじめるまで）押し続けて保存先を選択します（p.15「プログラムを保存する」）。

ヒント: オプション（別売）のVOX VC-12SVフット・コントローラーを使用してバンク3、4が選択されている場合は、BANK LEDは消灯します。バンク3、4を選択するにはVC-12SVのBANK UP/DOWNスイッチを使用します。

チューナー機能がオンのときは、BANK LEDとCH1～4 LEDに入力した音程に近い音名（弦番号）が表示されます（p.17「チューナーを使う」）。

TUNER(BYPASS)スイッチ、LED

TUNER(BYPASS)スイッチを押すと、すべてのエフェクトがオフ（バイパス）になり、チューナー機能がオンになります。TUNER(BYPASS)スイッチを1秒以上押し続けると、アンプの出力がミュート（消音）された状態で、チューナー機能を使用することができます。チューナー機能がオンのとき、TUNER(BYPASS)LEDにチューニングの状態が表示されます（p.17「チューナーを使う」）。

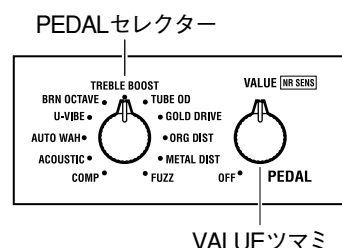
5. ペダル・セクション

ペダル・エフェクトの設定を行ないます。
各エフェクトの詳細は、「ペダル・エフェクト」（p.28）を参照してください。

PEDAL（ペダル）セレクター

ペダル・タイプを選択します。
ペダル・タイプを変更するとペダル・エフェクトのパラメーター設定が初期化されます。

VALUE（バリュー）ツマミ

各エフェクトのパラメーターを調整します。
左に回しきると、ペダル・エフェクトがオフになります。

6. モジュレーション/ディレイ・セクション

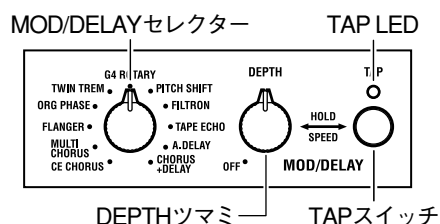
モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、その他ピッチ・シフトなどのエフェクトの設定を行います。
各エフェクトの詳細は、「モジュレーション/ ディレイ・エフェクト」（p.30）を参照してください。

MOD/DELAYセレクター　TAP LED
DEPTHツマミ　TAPスイッチ

MOD/DELAY（モジュレーション/ ディレイ）セレクター

モジュレーション・タイプ、ディレイ・タイプまたはその他のエフェクト・タイプを選択します。
エフェクト・タイプを変更するとエフェクトのパラメーター設定が初期化されます。

DEPTH（デプス）ツマミ

各エフェクトの効果の深さ（デプス）などのパラメーターを調整します。
TAPスイッチを押しながらDEPTHツマミを回すと、モジュレーション・スピードなどのパラメーターが調整できます。
左に回しきると、モジュレーション/ディレイ・エフェクトがオフになります。

TAP(タップ)スイッチ、LED

おもにモジュレーション・エフェクトのスピードと、ディレイ・エフェクトのディレイ・タイムを設定します。TAPスイッチを２回押した間隔が、スピードまたはタイムとして設定されます。
スピードやタイムに合わせてLEDが点滅します。

ヒント: 曲のテンポにあった正確なスピードまたはタイムを設定するには、曲の拍子にあわせてTAPスイッチを数回押してください。

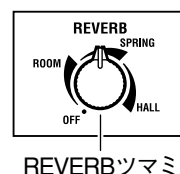
PITCH SHIFTを選択した場合は、TAPスイッチを押すたびにピッチの設定が変わります。
FILTRONを選択した場合は、TAPスイッチを押すたびにエンベロープのUPとDOWNの設定が変わります。UP時はLEDが点灯します。
TAPスイッチを押しながらDEPTHツマミを回すと、SPEEDやPITCHパラメーターなど調整することができます。
詳しくは、「モジュレーション/ディレイ・エフェクト」(p.30)を参照してください。

7. リバーブ・セクション

リバーブ・エフェクトの設定を行ないます。
各リバーブ・エフェクトについては、「リバーブ・エフェクト」(p.32)を参照してください。

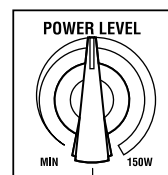
REVERBツマミ

REVERB(リバーブ)ツマミ

ツマミの位置によって、ROOM、SPRING、HALLのリバーブ・タイプの切り替えと、リバーブ音のミックス量を設定します。
左に回しきると、リバーブ・エフェクトがオフになります。

8. パワー・レベル・コントロール

パワー・アンプの出力ワット数を調整します。

VTX150 Neodymium本体のみの場合: 0W～150W
エクステンション・スピーカー使用時: 0W～300W

注意: パワー・レベルの設定はプログラムには保存されません。

パワー・レベル・コントロール

9. AUX IN/PHONESセクション

AUX IN端子

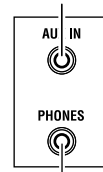
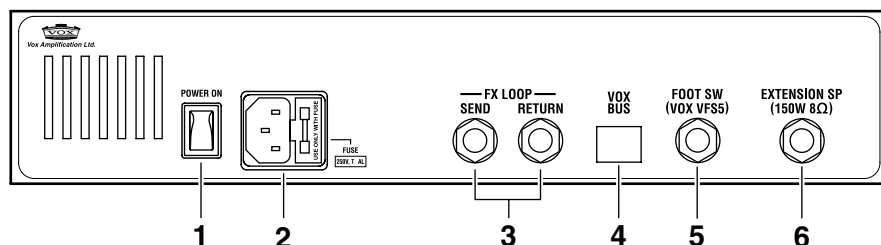
使用するオーディオ機器のアナログ音声出力を接続します。CDまたはMP3プレイヤーなどを接続して再生し、曲に合わせて演奏する場合に便利です。

AUX IN端子
PHONES端子

PHONES端子

ミキサーやレコーディング機器等へ直接出力するときや、ヘッドホンを使用するときにこの端子に接続します。この端子から出力される信号は、パワー・アンプの直前から取り出し、ギター・アンプのキャビネット特性が付加されます。

注意: この端子に接続すると、内蔵スピーカーおよびエクステンション・スピーカーから音は出ません。

注意: PHONES端子には、必ずステレオ・プラグを接続してください。モノラル・プラグを接続すると音が出力されません。

リア・パネル

1. POWERスイッチ

電源スイッチです。

2. AC電源端子

付属の電源コードを接続します。

3. FX LOOP(エフェクト・ループ)端子

外部エフェクターへのループ端子です。
SEND端子は外部エフェクターの入力へ接続します。RETURN端子は外部エフェクターの出力へ接続します。

4. VOX BUS端子

オプション(別売)のVOX VC-12SVフット・コントローラーを接続します。
VC-12SVの使い方は、「フット・コントローラー(VC-12SV)を使う」(p.19)を参照してください。

注意: この端子には、VC-12SVフット・コントローラー以外は絶対に接続しないでください。

5. FOOT SW(フット・スイッチ)端子

オプション(別売)のVOX VFS5フット・スイッチを接続します。
VFS5の使い方は、「フット・スイッチ(VOX VFS5)を使う」(p.18)を参照してください。

注意: VFS5の接続、取り外しは電源オフの状態で行なってください。電源オンのまま抜き差しすると、誤動作や故障の原因となります。

注意: VFS5を誤ってEXTENSION SP端子に接続しないようご注意ください。

6. EXTENSION SP(エクステンション・スピーカー・アウト)端子

ギター・スピーカー・キャビネットを接続します。
誤挿入防止用の部品がついている場合は、取り外して使用してください。

重要: 正しく使用していただくために、以下のことを厳守してください。

a) 外部スピーカーには、8Ω以外のインピーダンスのものを使用しないでください。

b) 定格入力が150Wに満たないスピーカーを接続しないでください。スピーカーを破損することがあります。

c) 外部スピーカーを接続するときは、必ずスピーカー・ケーブルを使用してください。ギターとアンプを接続するシールド線を使わないでください。

d) ケーブルを接続するときは、必ず電源をオフの状態で行ってください。電源をオンのままケーブルを抜き差しすると、アンプが壊れる原因となります。

3つのモードについて

プリセット・モード(プリセット・プログラムの呼出し)

プリセット・モードでは、AMPスイッチやセレクターによって、各アンプ・モデルの代表的なサウンドに設定されたベーシック、エフェクト・プリセット・プログラムや、著名なギタリストが演奏するヒット曲の音色を再現するソング・プリセット・プログラムが呼び出され、GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSやエフェクトなどの設定が自動的に切り替わります。各アンプ・モデルにプログラムされたヒット曲は、「ソング・プリセット・プログラム(p.36)」をご参照ください。

プリセット・モードへの切り替え

PRESET LEDが消灯しているときは、プリセット・モードではありません。PRESETスイッチを押すとPRESET LEDが点灯し、プリセット・モードに切り替わります。

プリセット・プログラムの呼出し

44種類の各アンプ・モデルには、ベーシック、エフェクト、ソングの3つのプリセット・プログラムが納められています(計132プログラム)。

PRESET LEDが点灯している状態で、AMPスイッチやAMPセレクターを操作します。トップ・パネル上のコントロール・ツマミやPEDALセレクター、またはMOD/DELAYセレクターの位置に関係無く、各アンプ・モデルに設定されたプリセット・プログラムが呼び出されます。プリセット・モードでPRESETスイッチを押す度にPRESET LEDの色がグリーン、オレンジ、レッドと変化し、プリセット・プログラムのベーシック、エフェクト、ソングが切り替わります。

マニュアル・モード

本機がマニュアル・モードのときは、通常のギター・アンプと同じ動作になります。
つまり、トップ・パネル上のすべてのセレクターやコントロール・ツマミの位置がそのままサウンドに反映されます(VALUE、DEPTHツマミを除く)。

マニュアル・モードへの切り替え

MANUAL LEDが消灯しているときは、マニュアル・モードではありません。PRESETスイッチを1秒以上押し続けると、MANUAL LEDが点灯し、マニュアル・モードに切り替わります。

注意: マニュアル・モードでは、ツマミの位置によって確定しないパラメーター(エフェクト・パラメーター、ノイズ・リダクションなどの設定)を変更すると、その設定は自動的に保存されます。次回マニュアル・モードに入ったときには、その設定が呼び出されます。ただし、PEDALセレクター、MOD/DELAYセレクターの位置が前回と変っていると、エフェクト・パラメーターは各タイプの初期値が読み込まれます。

チャンネル・セレクト・モード（ユーザー・プログラムの呼び出し）

チャンネル・セレクト・モードでは、BANKスイッチ、CHANNELスイッチを押すことによって、バンクの各チャンネルに保存されているプログラムが呼び出され、アンプやエフェクトのすべてのパラメーターが自動的に切り替わります。

チャンネル・セレクト・モードへの切り替え

BANK LED、CHANNEL LEDが消灯しているときは、チャンネル・セレクト・モードではありません。BANKスイッチ、またはCHANNELスイッチを押すとBANK LED、CHANNEL LEDが点灯し、チャンネル・セレクト・モードに切り替わります。

チャンネルの切り替え

CHANNELスイッチを押すとチャンネルが切り替わり、トップ・パネル上のセレクターやコントロール・ツマミの位置に関係無く、各チャンネルに設定されているプログラムが呼び出されます。BANKスイッチを押すと、バンクが切り替わり、元のバンクで選択されていたのと同じ番号のチャンネルが呼び出されます。

ヒント: リア・パネルにオプション（別売）のVOX VFS5フット・スイッチやVC-12SVフット・コントローラーを接続して使用すると、足元でバンク/チャンネルを切り替えることができます。詳しくは「フット・スイッチ（VOX VFS5）を使う」（p.18）、「フット・コントローラー（VC-12SV）を使う」（p.19）を参照してください。

音作りと保存

音作りの方法には、作りたい音に近いプリセット・プログラムなど既存のプログラムを元にして、必要な部分を変更して目的の音を作り上げていく方法と、白紙の状態（ゼロ）から作り上げていく方法があります。

音作り

ここでは白紙の状態（ゼロ）から作る方法を説明します。

1. マニュアル・モードにします。

2. TUNER(BYPASS)スイッチを押して、エフェクトをバイパスにします（TUNER(BYPASS) LED点灯）。
エフェクトを使用する場合は、最後に追加します。

3. AMPスイッチとAMPセレクターで使用するアンプを選びます。

ヒント: アンプ・モデルの詳細については「アンプ・モデル」（p.23）を参照してください。

4. GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSなど、トップ・パネルのツマミを調整します。

5. VALUEツマミを操作して、ノイズ・リダクションの設定をします。この設定もプログラムに保存されます。詳細については「ノイズ・リダクションの調整」（p.15）を参照してください。

ヒント: ノイズ・リダクションは、ギターを弾いていないときにノイズが気にならない程度に調整します。

6. TUNER(BYPASS)スイッチをもう一度押して、バイパスを解除します（TUNER(BYPASS) LED消灯）。

7. エフェクトを設定します。
エフェクトを使用しない場合は、VALUE、DEPTH、REVERBツマミを“OFF”の位置にします。もともと“OFF”になっていた場合は、1度“OFF”以外の位置に回してから再度“OFF”の位置にします。
エフェクトを使用する場合は、任意のエフェクトを選択し調整します。
例えば、ディレイを加える場合、MOD/DELAYセレクターを回して“A.DELAY”を選択します。もともと“A.DELAY”になっていた場合は、MOD/DELAYセレクターを回して1度他のエフェクト・タイプに切り替えてから、再度“A.DELAY”を選択します。
TAPスイッチやDEPTHツマミを使って、ディレイ・タイムやディレイ・レベル（ディレイ音のミックス量）を調整します。

DELAY LEVEL: （何も押さずに）DEPTHツマミを回す。
DELAY TIME: TAPスイッチを2回押す（押した間隔でタイムを設定）。
DELAY FEEDBACK: TAPスイッチを押しながらDEPTHツマミを回す。

ヒント: エフェクト・タイプの詳細については「アンプ・モデル、各種エフェクト・タイプについて」（p.23）を参照してください。

ノイズ・リダクションの調整

ノイズを抑える効果を設定します。

注意: ノイズ・リダクションは、プログラムごとに設定します。プリセット・モードやチャンネル・セレクト・モード のときに、保存しないで他のプログラムやマニュアルに切り替えたり電源をオフにすると、変更した内容は消えてしまいます。

1. TUNER(BYPASS)スイッチを押して、TUNER(BYPASS) LEDを点灯させます（エフェクト・バイパス・オン）。
2. VALUEツマミを回してノイズ・リダクションの感度を調整します。右に回すほど、ノイズを抑える効果が強くなります。左に回しきるとノイズ・リダクションがオフになり、効果がなくなります。

   注意: 使用するギターによっては、ノイズ・リダクションの感度を上げすぎると、音が途切れることがあります。

3. TUNER(BYPASS)スイッチを押してTUNER(BYPASS) LEDを消灯します。

プログラムを保存する

気に入ったサウンドに仕上がったら保存（ライト）します。

ヒント: 同じバンク内のチャンネルに保存する場合は、手順３から操作を行ないます。

1. BANKスイッチを0.5秒以上押し続けます。BANK LEDが点滅します。
2. BANKスイッチを押して保存先のバンクを選びます。

   ヒント: オプション（別売）のVOX VC-12SVフット・コントローラーを接続したときは、コントローラーのBANK UP/DOWNスイッチを使って、保存先（バンク1～4）を選択することができます。

   ヒント: ライト操作をキャンセルする場合は、ここでTUNER(BYPASS)スイッチを押します。LEDの点滅が停止し、元のモードに戻ります。

3. 保存先のCHANNELスイッチを2秒以上（LEDの点滅が点灯に変わるまで）押し続けます。これでプログラムがチャンネルに保存され、保存先のバンクとチャンネルに切り替わります。

   注意: プログラムは上書き保存されます。手順3で選んだチャンネルの元のプログラムは消去されます。

   注意: TUNER(BYPASS)スイッチの設定は、プログラムには保存されません。

   注意: プリセット・モードやチャンネル・セレクト・モードで音作りをしている場合は、保存しないで他のプログラムやマニュアルに切り替えたり電源をオフにすると、変更した内容は消えてしまいます。

プログラムに保存されている設定（オリジナル・バリュー）を確認する

プログラムに保存されているパラメーターの値は、オリジナル・バリュー表示によって確認できます。
ツマミでパラメーターの値を変更しているとき、その値がプログラムに保存されている値（オリジナル・バリュー）と一致すると、プリセット・モード時はPRESET LEDが、チャンネル・セレクト・モード時は選択されているチャンネルのLEDが一瞬消灯します。

ヒント: 気に入ったプログラムを見つけ、それがどんな設定になっているか知りたい場合は、このオリジナル・バリュー表示を活用するとよいでしょう。

注意: MASTERボリュームとPOWER LEVELコントロールはプログラムされないため、オリジナル・バリュー表示は行ないません。また、チャンネル・セレクト・モードでチューナー機能がオンのとき、またはマニュアル・モード時はオリジナル・バリュー表示は行ないません。

工場出荷時の状態に戻すには

本機のすべての設定を工場出荷時の状態に初期化する方法を説明します。

注意: この操作を完了すると、チャンネルに保存してあったプログラムはすべて消去され、出荷時のプログラムに初期化されます。

注意: マニュアル・モードで行なったエフェクトやノイズ・リダクションの設定も、すべて消去されます。

1. 電源を一旦オフにします。
2. CH1、CH4の2つのスイッチを押しながら電源をオンにします。BANK LEDとCHANNEL LEDが点滅し始めたら、押していたスイッチを離します。

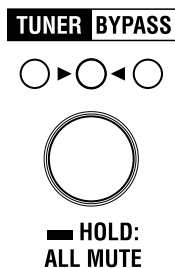
   ヒント: 初期化の作業を中止するときは、ここでTUNER(BYPASS)スイッチを押します。

3. TAPスイッチを押すと、BANK LEDとCHANNEL LEDが点滅から点灯に変わり、初期化が始まります。1～2秒で初期化が完了し、プリセット・モードに切り替わります。

   注意: 初期化中は、絶対に電源をオフにしないでください。

チューナーを使う

チューナー機能を使って、INPUT端子に接続したギターをチューニングすることができます。

ヒント: オプション（別売）のVOX VC-12SVフット・コントローラーを接続すると、足元でチューナー機能を使用することができます。詳しくはVC-12SVの取扱説明書を参照してください。

1. TUNER(BYPASS)スイッチを押します。すべてのエフェクトがバイパスになり、チューナー機能がオンになります。

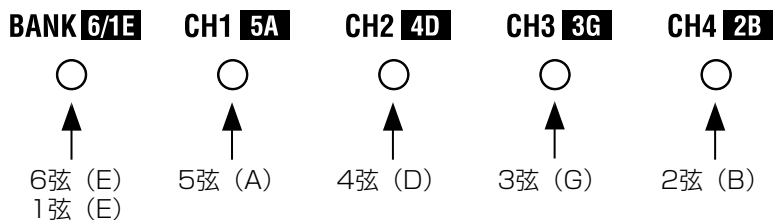
バイパス時の表示（有効な入力音が無い場合）

ヒント: 音をミュートしてチューニングするときは、TUNER(BYPASS)スイッチを1秒以上押したままにします。MUTE時はLEDが点滅します。

2. ギターの任意の弦を開放状態で弾きます。

注意: 他の弦が鳴らないように注意して弾いてください。

3. BANK、CH1～4の5つのLEDの内、弾いた弦に対応するLEDのみが点灯するように大まかにチューニングします。

BANK 6/1E	CH1 5A	CH2 4D	CH3 3G	CH4 2B
6弦（E） 1弦（E）	5弦（A）	4弦（D）	3弦（G）	2弦（B）

4. TUNER LEDの表示を見ながらギターを正確にチューニングします。

高い方にずれているとき

少し高い方にずれているとき

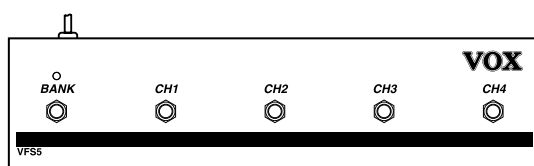
チューニングが合っているとき

少し低い方にずれているとき

低い方にずれているとき

5.. チューニングが終わったら、TUNER(BYPASS)スイッチを押します。

フット・スイッチ(VOX VFS5)を使う

オプション(別売)のVOX VFS5フット・スイッチをリア・パネルのFOOT SW端子に接続すると、バンクやチャンネルの切り替えや、エフェクト・バイパスのオンとオフを足元でコントロールできるようになります。

注意: フット・スイッチ端子への接続や取り外しは、電源オフの状態で行なってください。電源オンのまま抜き差しすると、誤動作や故障の原因となります。

注意: 複数のスイッチを同時に押さないでください。誤動作する場合があります。

チャンネル・セレクト・モードでの動作

バンク、チャンネルの切り替え(BANK、CH1~4スイッチ)

チャンネル・セレクト・モードでVFS5のスイッチを押すと、バンクとチャンネルが切り替わります。

注意: プリセット・モードまたはマニュアル・モードでVFS5のスイッチを押しても、チャンネル・セレクト・モードには切り替わりません。また、CH1~4スイッチを押し続けてもプログラムは保存されません。

注意: トップ・パネルの操作は、VFS5のLEDには反映されません。

タップ操作によるスピード、タイムの設定(CH1~4スイッチ)

選択されているチャンネルと同じ番号のスイッチを押すと、モジュレーション系エフェクトのスピードと、ディレイ系エフェクトのタイムを設定できます。2回押した間隔がスピードやタイムとして設定されます。

プリセット・モード、マニュアル・モードでの動作

タップ操作によるスピード、タイムの設定(CH3スイッチ)

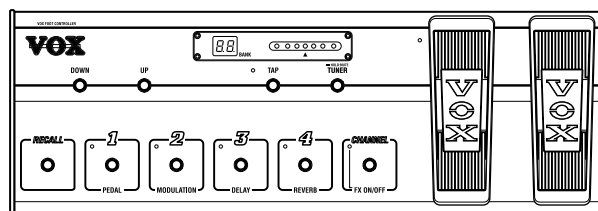
プリセット・モードまたはマニュアル・モードでVFS5のCH3スイッチを押すと、モジュレーション系エフェクトのスピードとディレイ系エフェクトのタイムを設定できます。2回押した間隔がスピードやタイムとして設定されます。

各エフェクトのオン、オフ(CH1、2、4スイッチ)

プリセット・モードまたはマニュアル・モードでVFS5のCH1、2、4スイッチを押すと、それぞれペダル・エフェクト、モジュレーション/ディレイ・エフェクト、リバーブ・エフェクトのオンとオフを切り替えることができます。

注意: エフェクトのオンとオフはプログラムごとに設定します。プリセット・モードやチャンネル・セレクト・モードのときに、保存しないで他のプログラムやマニュアルに切り替えたり電源をオフにすると、変更した内容は消えてしまいます。

フット・コントローラー（VOX VC-12SV）を使う

オプション（別売）のVOX VC-12SV フット・コントローラーを接続すると、ユーザー・プログラムが16（4バンク×4チャンネル）に拡張され、アンプ本体では選択できないバンク3、4が選択可能になります。

ヒント: プログラムをバンク3、4へ保存する方法は、「プログラムを保存する」（p.15）を参照してください

また、VC-12SVを使用することによって、足元から次のコントロールをすることができます。

・バンクやチャンネルの切り替え（チャンネル・セレクト・モード時のみ）
・ボリューム・ペダルによる音量コントロール
・エクスプレッション・ペダルによるパラメーターのコントロール
・フット・スイッチによる個々のエフェクトのオン/オフ
・フット・スイッチによるチューナーの起動
・フット・スイッチによるディレイ・タイム、モジュレーション・スピードの設定（タップ操作）

注意: VC-12SVのVOX BUS SUB端子には接続しないでください。本機を2台同時にコントロールすることはできません。

ヒント: VC-12SVの操作方法や接続方法などについては、VC-12SVの取扱説明書を参照してください。

ヒント: 本機がプリセット・モードのときのVC-12SVの動作は、本機がマニュアル・モード時と同様です。マニュアル・モード時の動作については、VC-12SVの取扱説明書を参照してください。

エクスプレッション・ペダルの設定

本機のプログラムは、エクスプレッション・ペダルにあらかじめ機能が割り当てられており、ワウはもちろん、様々なエフェクト・パラメーターをエクスプレッション・ペダルでコントロールすることができます。

ヒント: AUTO WAHを選択すると、エクスプレッション・ペダルは自動的にワウ・ペダルになります。

エクスプレッション・ペダルでどのパラメーターをどのようにコントロールするかは、プログラムごとに設定し保存することができます。プログラムを保存すると、そのときのエクスプレッション・ペダルの位置（傾き）が、設定値としてプログラムに保存されます。プログラムを選択すると、プログラムに保存された設定値が呼び出されます。
ただし、以下の値は保存されません。

・ ディレイ・エフェクトへの入力レベル
・ リバーブ・エフェクトへの入力レベル
・ PITCH SHIFTのPITCHパラメーター

エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てる（クイック・アサイン）

本機では、エクスプレッション・ペダルにエフェクトのパラメーターや、エフェクトへの入力レベルなどを簡単に割り当てることができます。

ヒント： 割り当てることができるエフェクト・パラメーターについては、「アンプ・モデル、各種エフェクト・タイプについて」（p.23）を参照してください。

注意： エクスプレッション・ペダルの機能割り当てや最小値、最大値は、プログラムごとに設定します。プリセット・モードやチャンネル・セレクト・モードのときに、保存しないで他のプログラムやマニュアルに切り替えたり電源をオフにすると、変更した内容は消えてしまいます。

基本手順

1. 各セレクターでエフェクトを選び、割り当てるパラメーターのツマミまたはスイッチを操作します。
割り当て可能なパラメーターの場合は、VC-12SVのペダルLED（エクスプレッション・ペダルの左上のLED）が１～２秒間ほど点滅します。
2. ペダルLEDが点滅している間に、VC-12SVのペダル・スイッチを押します。ペダルLEDが素早く点滅し、割り当てが完了します。

アンプ・ゲインを割り当てる手順

1. GAINコントロールを操作します。
2. ペダルLEDが点滅している間にペダル・スイッチを押します。

リバーブ・エフェクトへの入力レベルを割り当てる手順

1. REVERBツマミを操作します。
2. ペダルLEDが点滅している間にペダル・スイッチを押します。

ディレイ・エフェクトへの入力レベルを割り当てる手順

1. MOD/DELAYセレクターで“TAPE ECHO”、“A.DELAY”または“CHORUS+DELAY”を選択し、DEPTHツマミを操作します。
2. ペダルLEDが点滅している間にペダル・スイッチを押します。

PITCH SHIFTのPITCHパラメーターを割り当てる手順

1. MOD/DELAYセレクターで“PITCH”を選択し、TAPスイッチを押します（または、TAPスイッチを押しながらDEPTHツマミを操作します）。
2. ペダルLEDが点滅している間にペダル・スイッチを押します。

エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てないとき

1. TUNER(BYPASS)スイッチを押してバイパスにします。
VC-12SVのペダルLED（エクスプレッション・ペダルの左上のLED）が１～2秒間ほど点滅します。

2. ペダルLEDが点滅している間にVC-12SVのペダル・スイッチを押します。
ペダルLEDがすばやく点滅し、エクスプレッション・ペダルの割り当てが解除されます。

ヒント: エクスプレッション・ペダルに割り当てられているエフェクト・タイプを変更した場合も、割り当てが解除されます。
ただし、以下の場合は割り当てが変わらず、設定が引き継がれます。
- アンプ・モデルのGAINパラメーターが割り当てられている場合
- リバーブ・エフェクトの入力レベルが割り当てられている場合
- ディレイ・エフェクトのパラメーターが割り当てられている状態で、その3種類のディレイ・エフェクトの中で変更した場合

エクスプレッション・ペダルの最小値、最大値

エクスプレッション・ペダルを手前に戻しきったときが最小値で、ペダルを奥に倒しきったときが最大値になります。
エクスプレッション・ペダルにパラメーターを割り当てると、そのパラメーターの最小値、最大値を基本にしたエフェクトの操作上、適度な範囲がエクスプレッション・ペダルの最小値と、最大値として自動的に設定されます。
PITCH SHIFTのPITCHパラメーターを割り当てた場合は、最小値に"0"(ピッチ・シフトなし)、最大値に現在の値が設定されます。

注意: エクスプレッション・ペダルにディレイ、リバーブ・エフェクトの入力レベルを割り当てた場合は、最小値と最大値を変更することはできません。

最小値、最大値は、以下の手順で調整することができます。

1. 割り当て済みのパラメーターのツマミまたはスイッチを操作します。
VC-12SVのペダルLED(エクスプレッション・ペダルの左上のLED)が1〜2秒間ほど点滅します。

ヒント: 割り当て済みのパラメーターのツマミまたはスイッチを操作すると、ペダルLEDの点滅パターンが他のパラメーターの場合と異なります。

2. ペダル・スイッチを2度続けて押します。
ペダルLEDの点滅がゆっくりになり、最小値、最大値を設定するための状態になります。

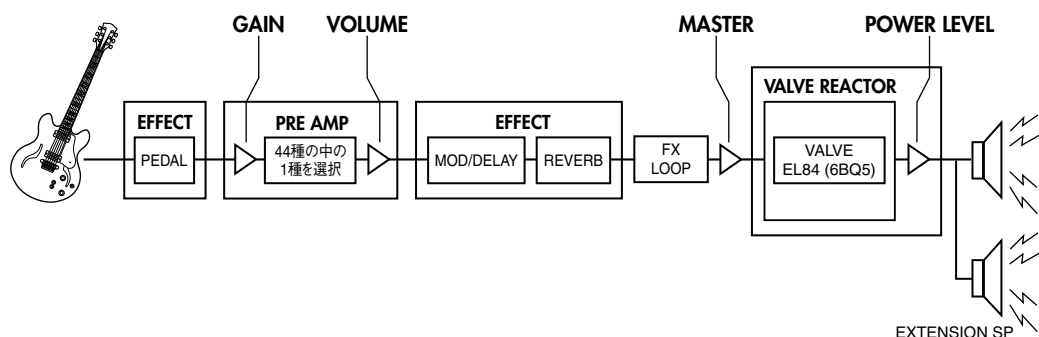
ヒント: 最小値、最大値を調整できるパラメーターの場合には、ペダル・スイッチを1度押した後、すばやい点滅が1〜2秒間ほど続きます。すばやい点滅が続いている間にペダル・スイッチをもう1度押します。

3. 最小値を調整するには、エクスプレッション・ペダルを手前に戻しきった状態で、割り当てられているパラメーターのツマミまたはスイッチを操作します。

4. 最大値を調整するには、エクスプレッション・ペダルを奥に倒しきった状態で、割り当てられているパラメーターのツマミまたはスイッチを操作します。

5. ペダル・スイッチを押します。
LEDの点滅が止まり、元の状態に戻ります。

信号経路

本機に入力された信号は、以下の順序で通過していきます。
「各部の名称と機能」(p.7)の説明と照らし合わせてご覧ください。

Valvetronix Pro(バルブトロニクス・プロ)とは?

VOX VTシリーズやToneLabシリーズなどで採用されているVOX Valve Reactor回路は、斬新な技術を基に作られました。これらの製品の音作りのほとんどはデジタル領域で行いますが、Valve Reactorパワーアンプは100%アナログです。ギター信号がアナログ領域であるパワーアンプ段を通過することは、モデルとなったオリジナル・アンプの感触やトーンを作り出すことに重要な役割を果たしています。
これまでのValve Reactor回路では、12AX7という通常はプリアンプに使用される真空管をパワー管として動作させた、いわばチューブ・パワーアンプのミニチュア版でした。
今回VTX150 Neodymiumのために新しくなった回路では、VOX AC30などにおいて実際にパワー管として使われるEL84(6BQ5)を使用することにより、これまでのValve Reactor回路よりもさらに真のチューブ・アンプの動作に近づくことを実現しました。この技術を我々はValvetronix Proと名付けました。
真空管は最終出力段の回路を特殊設計したパワーアンプ回路に接続されます。これにより純粋にチューブ・アンプのサウンドを再現しつつ、パワー段の出力量の最小出力から最大出力まで連続可変を可能とします。また、従来のチューブ・アンプに見られるワイドなダイナミックレンジもそのまま保持されます。このダイナミックレンジはソリッドステートのアンプではなかなか出せない特性で、同じ出力の仕様でもソリッドステート・アンプに比べてチューブ・アンプの方がパワフルに聞こえるのは、この特性のおかげです。Valve Reactorパワーアンプの出力は、接続されているスピーカー・システムの絶えず変化しているインピーダンス曲線を「読み取り」、この情報を真空管にフィードバックするように設計されています。この情報によって、アンプのチューブ段での動作がスピーカー負荷(インピーダンス)に応じて変化します。これもまた、真のチューブ・アンプのサウンドを形成する大切な要因となっています。
このような特性を調整することにより、アンプ・モデルの一つ一つのサウンドが忠実に再現できるのです。米国特許取得済みのこのパワーアンプ技術は、VOX Valvetronixアンプだけのものです。
VTX150 Neodymiumで新たに採用されたValvetronix Proのサウンドを、どうぞお楽しみください。

アンプ・モデル、各種エフェクト・タイプについて

ここでは、アンプ・モデル、そしてペダル・エフェクト、モジュレーション/ディレイ・エフェクト、リバーブ・エフェクトの各種エフェクト・タイプについて説明します。

ヒント: 各アンプ・モデルのGAIN(トップ・パネルのGAINコントロールで設定)は、オプション(別売)のVOX VC-12SVのエクスプレッション・ペダルに割り当ててコントロールすることができます。パラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てる(クイック・アサイン)」(p.20)を参照してください。

アンプ・モデル

1. CLEAN

STD (Standard)

完全受注生産されるオーバードライブ・スペシャルと名付けられた、高級アンプのクリーン・チャンネルをモデリングしました。丸みのある美しい低域、立ち上がりの早いミッド・レンジのアタック、甘美なトレブル音は、シングル・コイル・ピックアップに最適です。

SPL (Special)

1975年より販売されている2x12"スピーカーを搭載した、日本製アンプのクリーン・チャンネルをモデリングしました。フルレンジのクリーン・サウンドとステレオ・コーラスが搭載されていることで知られ、世界中のステージやスタジオで利用されています。

CST (Custom)

純粋なクリーン・トーンを得る、3バンド・トーン・コントロールのみのモデルです。TREBLE、MIDDLE、BASSを中央にすると、プリアンプはフラットな特性となります。

EXT (Extra)

ジャズ系のプレイでよく使われるアメリカ製の小型コンボ・アンプのモデルです。特にTREBLEツマミの使い方がポイントで、ジャズ定番のメローなものからブライトかつファットなものまで、様々なジャズ・サウンドを演出します。

2. CALI CLEAN

STD (Standard)

6G5-A "Pro" アンプは、1960~1963に生産され、黄褐色のビニール・カバーと茶色く丸いツマミが特徴となっています。この40Wのコンボ・アンプは、暖かくクリーンなトーンで知られています。

SPL (Special)

このアメリカ製ツイード地の57年製2x12" コンボ・アンプは、クラシック・ロックやブルース、カントリーに最適な、リッチなクリーン・トーンで知られています。ボリュームを上げるとパワフルでパンチの効いたオーバードライブ・サウンドを生み出すことも可能です。

CST (Custom)

アメリカ製のブラック・パネルのアンプを改造したものをモデリングしています。この改造では、元々の素晴しいアンプに更なるスムーズさと暖かみが加えられています。

EXT (Extra)

60年代に発売以降、ブラック・フェイスの愛称で多くのギタリストから愛されている、2チャンネル、22Wのコンボ・アンプです。パワー・アンプ部には6V6を搭載し、チューブ・リバーブによる温かみのある音色が特徴です。本機では”Vibrato”チャンネルを採用しました。

3. US BLUES

STD (Standard)

もともとベース・ギター用に設計された1959年製4x10"コンボ・アンプをモデリングしました。スムーズで抜けのよいオーバードライブ・サウンドで、ピッキングの強弱やギターのボリュームに敏感に反応します。

SPL (Special)

VOXの特別な仲間であり、カスタム・アンプ・デザイナーのトニー・ブルーノの好意により実現した22WのBruno Cowtipper Pro II 22のモデリングです。タッチに非常に敏感に反応し、絹のような甘いクリーン・トーンは、ボリューム・アップ時にはリッチな倍音を含むクランチ・サウンドとなります。

CST (Custom)

$25,000を超える価値のある、ウッド仕上げの30Wブティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。このアンプはガラスのような、煌めくクリーン・トーンと、ゲインを上げたときは驚くほど音楽的にスイートなオーバードライブ・サウンドを提供します。

EXT (Extra)

カリフォルニアを拠点とし、数々の高級アンプを作り続けるアンプ・メーカーの源流ともなったアンプです。ゲイン・アップのためのボリュームを世界で初めて搭載したことでも有名です。ジャンルの壁を超えた幅広いサウンドを再現します。

4. US 2x12

STD (Standard)

モデルとなったフロント・ブラック・アンプはカントリーやブルース・プレイヤー必須の2x 12"コンボです。深みのあるピアノ風ベース音を含んだタイトなクリーン・サウンドで、特にシングル・コイル・ピックアップで使用するとクラシックなシカゴのブルース・トーンを生み出します。

SPL (Special)

無類のクオリティと真のポイント・トゥ・ポイント・ワイアリングで著名な、美しい30Wのブティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。VOX AC30に似たコンセプトのこのアンプは、豊富な倍音と輝かしいクリーントーン、そして心地よいオーバードライブで有名です。

CST (Custom)

クランチな歪みのアンプを基に、トーン・コントロールを旧来よりも効きの強いアクティブ回路のものにし、幅広い音色作りを可能にしたオリジナル・アンプ・モデルです。
TREBLEを効かせた煌びやかなカッティング、逆に下げて渋めのブルース・セッティング、MIDDLEを効かせたロックなバッキングなど、様々な状況に対応します。

EXT (Extra)

カリフォルニア製の100Wコンボ・アンプです。整流回路のシリコン・ダイオード/5AR4整流管の切り替えにより、ダイナミクス、ヘッドルーム調整が可能です。そのサウンド・バリエーションの広さで幅広いプレイ・スタイルのギタリストから支持を得ています。このアンプが生産中止になったときには、多くのギタリストの心を痛めました。

5. VOX AC15

STD (Standard)

AC15の低出力パワー・アンプの甘美で理想的な音色特性と、AC30のトップ・ブースト・チャンネルの自由度の高い音色を組み合わせた、AC15TBのモデリングです。

SPL (Special)

コンパクトなキャビネット、パワー、そして素晴しい音色で、当時人気のあったブリティッシュ・バンドと共に大ヒットになった、1962年製VOX AC15(1x12"、15W)のチャンネル2をモデリングしました。

CST (Custom)

Night TrainのThickチャンネルをモデリングしました。このアンプはプリアンプ部、パワーアンプ部それぞれに12AX7、EL84を搭載し、モダンで斬新な音色が特徴的です。

EXT (Extra)

VOX AC4は1958年発売の練習用アンプ、AC2の改良版として開発されました。これまでより、やや大きなキャビネットを採用し、音色に磨きをかけた結果、1962年に発売されました。プリ・アンプ部には12AX7、EF86を搭載し、パワー・アンプ部にはEL84、整流管はEZ80が採用されています。

6. VOX AC30

STD (Standard)

1964年以降の「トップ・ブースト」回路を標準仕様として搭載したAC30のモデリングです。スムーズかつ繊細なトップ・エンドを持ち、威厳のある野太いオーバードライブや、豊かで華やかなクリーン・サウンドを生み出します。

SPL (Special)

ハンド・ワイヤードのオールチューブ・アンプ、AC30H2をモデリングしました。クランチに代表される伝統的なVOXサウンドから、モダンなハイゲインまでを幅広くカバーするこのアンプも、後世に語り継がれるアンプとなることでしょう。

CST (Custom)

伝説的な50年代のオリジナルAC30のあらゆるニュアンスを忠実に再現した、AC30BMブライアン・メイ・シグネイチャー・モデルをモデリングしました。本機では、アンプをオーバードライブさせ、トレブル・ブースターをオンにしたスクリーミング・サウンドをお届けします。

EXT (Extra)

VOXならではのクランチ/オーバードライブ・サウンドに特化したコンボ・アンプ・モデルです。オリジナルAC30に搭載されているブルー・アルニコ・スピーカーの温かくクリスタルな質感が特徴です。

7. UK ROCK

STD (Standard)

もともと1962年から66年に製造されたこの45Wのアンプ・ヘッドは、ツイード地のベース・アンプを基に作られましたが、よりハイゲインな設計は、今日まで続くブリティッシュ・アンプ・トーン革命の始まりでもありました。

SPL (Special)

1983年、UK製100Wマスター・ボリューム付きシングル・チャンネルのヘッドをモデリングしました。ゲイン・コントロールをフルアップすると、80年代を制覇した、うなるような太いハード・ロックやヘビー・メタル・サウンドが得られます。

CST (Custom)

60年代初期にイングランドで、ハンド・ワイヤリングによって作られたヘッドのハイ・トレブル・チャンネルをモデリングしました。この50W出力のアンプの音量を一杯に上げると、ロックン・ロール・サウンドとして永遠に変わらないクランチを生み出します。

EXT (Extra)

ソウルフルでブルージーなハードロックに適した英国製のブティックなスタック・アンプのモデルです。表現力豊かなオーバードライブ・トーンを演出します。

8. UK METAL

STD (Standard)

100Wのモダン・アンプのハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。個々の音に輪郭を持ちながらも、かなり攻撃的で鼻息の荒いモンスター・サウンドに仕上がっています。

SPL (Special)

パワフルなトーンの４チャンネル仕様が自慢の、２００７年にリリースされたイギリス製100Wアンプ・ヘッドのモデリングです。本機では、タイトな低音と鮮明なハイゲイン・メタルサウンドが得られる"Overdrive 1"チャンネルを採用しました。

CST (Custom)

UK製の100Wヘッドを基に、驚くべきトーンとスラッシュなリズム、そしてシルクハット好きで知られる著名ギタリストのために作られました。貴方に極上のメタル・トーンの欲求があるなら、このアンプは最高のチョイスとなります。

EXT (Extra)

80'sメタルの皮切りであるCRAZY TRAINなサウンドを生み出す、真っ白なレザーに覆われたスタック・アンプのモデルです。ハムバッカー系ギターとの組み合わせでどうぞ。本機ではカスケード・モードを搭載した、"チャンネルII"をモデリングしました。

9. US HIGH GAIN

STD (Standard)

北ハリウッドで製作された100Wのブティック・アンプ・ヘッドのモデリングです。このアンプでは、パワー管のクラスABとクラスAモードの切り替えが可能で、本機が採用したクラスABモードでは、リッチな倍音と音楽的レスポンスが得られます。

SPL (Special)

蛇皮でカバーされた1991年製100Wアンプ・ヘッドのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。オープンなローエンドと圧縮した中/高域を組み合わせた、パワフルでヘヴィーなサウンドで、どんな極端なゲイン設定でも芯の通った迫力のあるトーンになります。

CST (Custom)

不朽の名作、"POWER METAL"で聞かれる、CRANKな音が得られます。

EXT (Extra)

ブルーの光彩をまとったドイツ製のハンドメイド・アンプのモデルです。本機では現代のギター・サウンドにマッチした歪みを生み出す"AMP 2"チャンネルをチョイスしました。ゲインをフルに上げても、ギターそのもののサウンド・キャラクターを保ち、明確なトーンを再生します。

10.US METAL

STD (Standard)

猛獣のごときハイゲイン・アンプの、モダン・ハイゲイン・チャンネルをモデリングしました。深く、ルーズなローエンド、きらめく高域、モンスターのようなゲインは、できるだけ低くチューニングしたギターや７弦ギターを振るったメタル・アクトに最適です。

SPL (Special)

3チャンネル仕様で多才なゲイン・スイッチ群によりワイドでバラエティに富んだサウンドを持つ、カリフォルニア産、アンプ・ヘッドのモデリングです。本機では、究極のハイゲイン・トーンが得られるリード・チャンネルをモデリングしています。

CST (Custom)

ミシシッピで作られたこの１２０Wの２チャンネル・ヘッドは、"Brown Sound"で著名な伝説的ギター・ヒーローのためにデザインされました。このアンプ・モデルでは、タッピング奏法に最適なハイゲイン・サウンドをフィーチャーしています。

EXT (Extra)

スラッシュ・メタルを代表するバンドのファットなメタル・サウンドを追及したモデルです。ダウン・チューニングさせたギターによるSt.Angerなメタル・アクトに最適です。

11.BOUTIQUE METAL

STD (Standard)

完全受注生産されるオーバードライブ・スペシャルと名付けられた、100W高級アンプのオーバードライブ・チャンネルをモデリングしました。GAINコントロールを上げたときの素晴しいサスティーンは、スムーズでソウルフルです。

SPL (Special)

100Wのドイツ製4チャンネル・アンプ・ヘッドより放出される破壊的なハイゲイン・サウンドをモデリングしました。本機では、ドロップD・メタル・チューニングでプレイしたときに、驚くべきタイトさをもたらす"Heavy"チャンネルをチョイスしました。

CST (Custom)

近年のハイゲイン・アンプを基にし、中域が豊かでホットな音色と極めて強烈なロングトーンが特徴のオリジナル・アンプ・モデルです。
本モデルもトーン・コントロールがアクティブ回路のものを採用しているため、幅広い音色作りが可能です。

EXT (Extra)

パンチのあるメタル・サウンドから、ビンテージ・ロックまで幅広い音色をカバーする、300W、９バンドEQを備えたソリッドステート・アンプです。本機種では"Channel 2"をモデリングし、メタル・アクトに最適なEQセッティングを施しています。ダウン・チューニングされたギターや７弦ギターを振るったアクトに最適です。

ペダル・エフェクト

本機は、ペダル・エフェクトで最もポピュラーな11種類のペダル・タイプを用意しています。VALUEツマミで、おもなパラメーターを設定することができます。

注意: ペダル・エフェクトのパラメーター調整はバイパス・オフ（TUNER(BYPASS) LED消灯）の状態で行なってください。バイパス・オン（TUNER(BYPASS) LED点灯）時にVALUEツマミを回すと、エフェクト・パラメーターではなくノイズ・リダクションの感度調整となります。

注意: VALUEツマミを左に回しきると、ペダル・エフェクトがオフになります。

ヒント: オプション（別売）のVOX VC-12SVのエクスプレッション・ペダルに割り当てることができるパラメーターに「*」を付けています。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てる（クイック・アサイン）」（p.20）を参照してください。

1. COMP

パーカッシブなクリーン・サウンドで人気の高いコンプレッサー・ペダルをモデリングしました。80年代、90年代のポップやファンクのリズムにピッタリです。また、歌うようなメローなサスティーンも得られます。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	SENS*	感度を調整。右に回すほどコンプレッション、サスティーンの量が増加。

2. ACOUSTIC

アコースティックなサウンドを弾きたいときに最適です。エレキ・ギターの音をアコースティック・ギターの音に変換するシミュレーターです。
シングル・コイル（つまり低出力）のネック（フロント）・ピックアップでの使用をお奨めします。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	TONE*	音色を調整。

3. AUTO WAH

ピッキングのダイナミクス、つまり弦を弾く強さに追従して自動的に効果のかかるオート・ワウのモデリングです。クセがありますが便利なエフェクトです。
ペダル・セレクターでAUTO WAHを選択すると、オプション（別売）のVOX VC-12SVフット・コントローラーのエクスプレッション・ペダルは自動的にワウ・ペダルになります。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	SENS/POL*	ギターの音量に対する動作感度と、動作方向を調整。エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ワウをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能となり、動作感度と動作方向は、ギターからの入力には影響されない（ツマミの機能もワウの開き具合の調整となる）。

4. U-VIBE

かの有名なペダル付きのフェイズ/ ビブラートをモデリングしました。このエフェクトは回転スピーカーをシミュレートし、とても誘惑的で情感のあるトーンを作り出します。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	SPEED*	ビブラートの速さを調整。

5. BRN OCTAVE

1オクターブ低い音を作り出し、原音に混ぜ合わせることによって音に重量感を与えるペダルのモデリングです。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	LEVEL*	1オクターブ低い音のミックス量を調整。

6. TREBLE BOOST

VOX AC30を使うことを想定してデザインされた、VOX VBM-1内蔵のトレブル・ブースターをモデリングしました。

オーバードライブ・サウンドに「クランチ感」を加えます。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

7. TUBE OD

緑色のボックスに入ったオーバードライブ・ペダルをモデリングしたもので、その作り出すサウンドの温かみが何とも言えず素晴しいため、伝統のクラシックなエフェクトとなっています。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

8. GOLD DRIVE

ギリシャ神話に登場する、半人半馬の名前を持つオーバードライブをモデリングしました。ゲインを下げるとギターの原音を損なわないブースターとして、ゲインを上げると豊かなミッドレンジを持つオーバードライブとして使用できます。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

9. ORG DIST

日本製のオレンジ色のボックスに入った、クラシックなディストーションです。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

10.METAL DIST

メタルに最適なディストーションです。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

11.FUZZ

レトロっぽく、あつかましくて荒削り、そんなイメージを作ります。

ツマミ	パラメーター	
VALUE	GAIN*	ゲインを調整。

モジュレーション/ディレイ・エフェクト

本機では、モジュレーション・エフェクト、ディレイ・エフェクト、その他のエフェクトの中から、11種類のエフェクト・タイプを用意しました。
モジュレーション・タイプのSPEEDパラメーターや、ディレイ・タイプのTIMEパラメーターは、TAPスイッチを2回以上押すことで簡単に設定することができます。

ヒント: 曲のテンポにあった正確なスピード、タイムを設定するには、曲の拍子に合わせてTAPスイッチを数回押してください。

またDEPTHツマミで、おもなパラメーターを設定できるほか、TAPスイッチを押しながらDEPTHツマミを回すことで、更に細かな設定が可能です。

注意: DEPTHツマミを左に回しきると、モジュレーション/ディレイ・エフェクトがオフになります。

ヒント: オプション(別売)のVOX VC-12SVのエクスプレッション・ペダルに割り当てることができるパラメーターに「*」を付けています。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てる(クイック・アサイン)」(p.20)を参照してください。

1. CE CHORUS

スタンダードの豊かなアナログ・コーラス・ユニットのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

2. MULTI CHORUS

3つのコーラス・タップを持つ、深く広がりのあるコーラスです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

3. FLANGER

「両手タッピングのゴッドファーザー」と多くの人が崇める現代の有名ギタリストを生んだ、真にクラシックなアナログ・フランジャーのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

4. ORG PHASE

バナナ色のボックスに入った人気の高いアナログ・フェイザーのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.1...15Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

5. TWIN TREM

US製コンボ･アンプに搭載されている評判の高いトレモロ回路のモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	DEPTH*	トレモロの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを1.0...15 Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

6. G4 ROTARY

ロータリー･スピーカーのモデリングです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	DEPTH*	モジュレーションの深さを調整。
TAP	SPEED*	モジュレーションのスピードを0.8...15 Hzの範囲で設定。
TAP+DEPTH	SPEED*	スピードを調整。

7. PITCH SHIFT

上下1オクターブの変化幅を持つ、和音入力可能なピッチ･シフターです。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	BALANCE*	ダイレクト音とエフェクト音のバランスを調整。
TAP	PITCH*	エフェクト音のピッチ•シフト量を、オクターブ、4 度、5 度で設定。スイッチを押すたびに、-12、-7、-5、DT (Detune)、+5、+7、+12、-12...と変化。
TAP+DEPTH	PITCH*	エフェクト音のピッチ•シフト量を半音単位（100cent）で設定。-12、-11...-1、0、DT (Detune)、+1...+12と変化。

8. FILTRON

ギターの入力に応じてフィルターの開き具合が変わる、エンベロープ･コントロールド･フィルター（ワウ）です。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	SENS*	ギターの音量に対する動作感度を調整。エクスプレッション•ペダルにこのパラメーターを割り当てると、カットオフ周波数をエクスプレッション•ペダルでコントロール可能となり、フィルターの開き具合は、ギターからの入力には影響されない（ツマミの機能もカットオフ周波数の調整となる）。
TAP	TYPE	UP/DOWN動作方向を設定。UP時は、TAPスイッチのLEDが点灯。
TAP+DEPTH	RESONANCE*	レゾナンスの量を調整。

9. TAPE ECHO

評判の高いアナログ･テープ･エコーのモデリングです。もともとエコーは再生ヘッドで作られ、ディレイ･タイムはモーターのスピードを変化させて設定します。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。エクスプレッション•ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション•ペダルでコントロール可能。
TAP	TIME	40...1048msの範囲でディレイ•タイムを設定。
TAP+DEPTH	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

10.A.DELAY

バケット・ブリッジ・デバイス（BBD）を使用した、アナログ・ディレイのモデリングです。音質的にはロー・ファイですが、その暖かみのあるサウンドで評判です。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。 エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能。
TAP	TIME	40...1048msの範囲でディレイ・タイムを設定。
TAP+DEPTH	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

11.CHORUS+DELAY

コーラスとディレイの複合エフェクトです。コーラスのかかり具合は固定で、ディレイのパラメーターのみを変更することができます。

ツマミ/スイッチ	パラメーター	
DEPTH	LEVEL*	ディレイ音のミックス量を調整。 エクスプレッション・ペダルにこのパラメーターを割り当てると、ディレイへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルでコントロール可能。
TAP	TIME	40...1048msの範囲でディレイ・タイムを設定。
TAP+DEPTH	FEEDBACK*	フィードバックの量を調整。

リバーブ・エフェクト

３種類のリバーブ・タイプを用意しました。
REVERBツマミの位置によってROOM、SPRING、HALLのリバーブ・タイプの切り替えと、リバーブ音のミックス量を設定します。

注意: REVERBツマミを左に回しきると、リバーブ・エフェクトがオフになります。

ヒント: オプション（別売）のVOX VC-12SVのエクスプレッション・ペダルにリバーブを割り当てると、リバーブへの入力レベルをエクスプレッション・ペダルによってコントロールすることができます。エクスプレッション・ペダルへパラメーターを割り当てる方法については、「エクスプレッション・ペダルに機能を割り当てる（クイック・アサイン）」（p.20）を参照してください。

1. ROOM

初期反射音を多く含む、一般的な部屋のリバーブ・タイプです。

2. SPRING

ギター・アンプ内蔵のスプリング・リバーブを再現しました。

3. HALL

エコー成分を多く含むコンサート・ホールの残響をモデリングしています。

故障とお思いになる前に

1. POWERスイッチをONにしても電源が入らない

- リア・パネルのAC電源端子に電源コードが接続されていますか?
- コンセントに電源コードが接続されていますか?
- コンセントが故障していませんか?
- 電源コードが損傷していませんか?

2. アンプから音が出ない

- ギターのボリュームを絞っていませんか?
- ギター・シールドが正しく接続されていますか?
- ギター・シールドが断線していませんか?
- トップ・パネルのMASTERボリュームが小さい値になっていませんか?
- トップ・パネルのPHONES端子にヘッドホンが接続されていませんか?
  その場合は接続を外してください。
- GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSコントロールの設定を確認してください。アンプ・モデルによってはTREBLE、MIDDLE、BASSコントロールの値が小さいと、オリジナル・アンプの回路と同様、アンプから音が出ない場合があります。
- マニュアル・モードの場合(MANUAL LED点灯)、GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSコントロールが0または最小値になっていませんか?
- 本機に接続したVC-12SVのVOLUMEペダルが、Min位置になっていませんか?
  または、エクスプレッション・ターゲットがアンプやペダル・エフェクトのGAINパラメーターに設定された状態で、エクスプレッション・ペダルがMin位置になっていませんか?

3. アンプの音量が十分出ない

- ギターのボリュームを絞っていませんか?
- MASTERボリュームが下がっていませんか?
- POWER LEVELを絞っていませんか?
- EXTENSION SP端子に高インピーダンス(16Ωなど)のスピーカーが接続されていませんか?
- GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSコントロールの設定を確認してください。アンプ・モデルによってはTREBLE、MIDDLE、BASSコントロールの値が小さいと、オリジナル・アンプの回路と同様、アンプから音が出ない場合があります。
- マニュアル・モードの場合(MANUAL LED点灯)、GAIN、VOLUME、TREBLE、MIDDLE、BASSコントロールが小さい値になっていませんか?

4. PHONES端子から音が出ない

- トップ・パネルのMASTERボリュームが小さい値になっていませんか?
- 音がアンプから出力されているか確認してください。
  このとき、PHONES端子にヘッドホンやケーブルが接続されていると内蔵スピーカーから音が出ませんので、PHONES端子への接続を外してください。
  アンプからサウンドが出力されていない場合は、前述の「アンプから音がでない」を参照してください。アンプからサウンドが出力されている場合は、ヘッドホン、接続ケーブルが故障や断線していないか確認してください。

5. エフェクトがかからない

- TUNER(BYPASS) LEDが点灯していませんか?
  点灯している場合、エフェクトがバイパスされています。TUNER(BYPASS)スイッチを押してバイパスを解除してください。TUNER(BYPASS)LEDは消灯します。
- VALUE、DEPTH、REVERBツマミがOFFの位置、または小さい値になっていませんか?ツマミを調整してください。
- VOX VFS5、またはVOX VC-12SVの操作でエフェクトをオフにしていませんか?
  VFS5やVC-12SVを操作するか、トップ・パネルのVALUE、DEPTH、REVERBツマミを操作してエフェクトをオンにしてください。
- エクスプレッション・ターゲットがエフェクトのかかり具合を決めるパラメーターに設定されている状態で、本機に接続したVC-12SVのエクスプレッション・ペダルがMin位置になっていませんか?

6. AUX IN端子に接続した機器の音がでない

- 外部機器が正しく接続されていますか?
- 外部機器のボリュームを絞っていませんか?

7. 本機に触れたとき、鐘のようなノイズが出る

- このノイズはマイクロフォニック・ノイズ(microphonic noise)と呼ばれる真空管特有のノイズであり、故障ではありません。

仕様

アンプ・モデル数:	44
エフェクト数	
ペダル・タイプ:	11
モジュレーション・ディレイ・タイプ:	11
リバーブ・タイプ:	3
ノイズ・リダクション:	1
プログラム数	
プリセット:	132
ユーザー:	8（2バンク×4チャンネル） VOX VC-12SVフット・コントローラー接続時:16（4バンク×4チャンネル）
入出力端子	
トップ・パネル:	INPUT端子、PHONES端子、AUX IN端子
リア・パネル:	FOOT SW端子、VOX BUS端子、EXTENSION SP端子、FX LOOP SEND/RETURN端子
パワーアンプ出力:	最大150W RMS@8Ω（VTX150 Neodymium本体のみ） 最大300W RMS@4Ω（エクステンション・スピーカー使用時）
スピーカー:	VOX NeoDog（Celestion社製ネオジウム・スピーカー12インチ8Ω）×1
信号処理	
A/D変換:	24bit
D/A変換:	24bit
電源:	100VAC、50/60Hz
消費電力:	83W
外形寸法（W×D×H）:	451 × 261 × 438mm
質量:	12.1kg
付属品:	電源コード
オプション（別売）:	VOX VFS5フット・スイッチ、VOX VC-12SVフット・コントローラー

※ 仕様および外観は、改良のため予告無く変更されることがあります。

ソング・プリセット・プログラム

アンプ・モデル（GREEN）			ソング・タイトル
01	CLEAN	STD (Standard)	Gravity
02	CALI CLEAN	STD (Standard)	Brown Sugar
03	US BLUES	STD (Standard)	Cocaine
04	US 2x12	STD (Standard)	Creep
05	VOX AC15	STD (Standard)	I Feel Fine
06	VOX AC30	STD (Standard)	Pride
07	UK ROCK	STD (Standard)	Foxy Lady
08	UK METAL	STD (Standard)	Enter Sandman
09	US HIGH GAIN	STD (Standard)	Song 2
10	US METAL	STD (Standard)	Know Your Enemy
11	BOUTIQUE METAL	STD (Standard)	Blue Wind

アンプ・モデル（ORANGE）			ソング・タイトル
01	CLEAN	SPL (Special)	Message In A Bottle
02	CALI CLEAN	SPL (Special)	Under The Bridge
03	US BLUES	SPL (Special)	Sultans Of Swings
04	US 2x12	SPL (Special)	Rebel Rebel
05	VOX AC15	SPL (Special)	You Enjoy Myself
06	VOX AC30	SPL (Special)	Smoke On The Water
07	UK ROCK	SPL (Special)	Beat It
08	UK METAL	SPL (Special)	For the Love of God
09	US HIGH GAIN	SPL (Special)	Best Of You
10	US METAL	SPL (Special)	Satch Boogie
11	BOUTIQUE METAL	SPL (Special)	Smells Like Teen Spirit

アンプ・モデル（RED）			ソング・タイトル
01	CLEAN	CST (Custom)	Wonderwall
02	CALI CLEAN	CST (Custom)	Pride and Joy
03	US BLUES	CST (Custom)	Walk This Way
04	US 2x12	CST (Custom)	Back In Black
05	VOX AC15	CST (Custom)	Paranoid
06	VOX AC30	CST (Custom)	Tie Your Mother Down
07	UK ROCK	CST (Custom)	Black Dog
08	UK METAL	CST (Custom)	Sweet Child O' Mine
09	US HIGH GAIN	CST (Custom)	Five Minutes Alone
10	US METAL	CST (Custom)	Hot For Teacher
11	BOUTIQUE METAL	CST (Custom)	Raining Blood

アンプ・モデル（BLUE）			ソング・タイトル
01	CLEAN	EXT (Extra)	Mr. Sandman
02	CALI CLEAN	EXT (Extra)	I Bet That You Look Good On The Dance Floor
03	US BLUES	EXT (Extra)	Black Magic Woman
04	US 2x12	EXT (Extra)	21st Century Schizoid Man
05	VOX AC15	EXT (Extra)	A-Punk
06	VOX AC30	EXT (Extra)	Won't Get Fooled Again
07	UK ROCK	EXT (Extra)	My Messiah
08	UK METAL	EXT (Extra)	Crazy Train
09	US HIGH GAIN	EXT (Extra)	YYZ
10	US METAL	EXT (Extra)	St. Anger
11	BOUTIQUE METAL	EXT (Extra)	Psychosocial

※ 実際のギタリストが曲中で使用している機材とは異なる場合があります。

プログラム・シート

設定をメモするためのシートです。好みの音が作れたらその設定を書き留めましょう。
下のプログラム・シートはコピーして使用することをおすすめします。
ノイズ・リダクションやスピードなどの設定も忘れずに書き留めてください。

PROGRAM NAME：

NOTE:

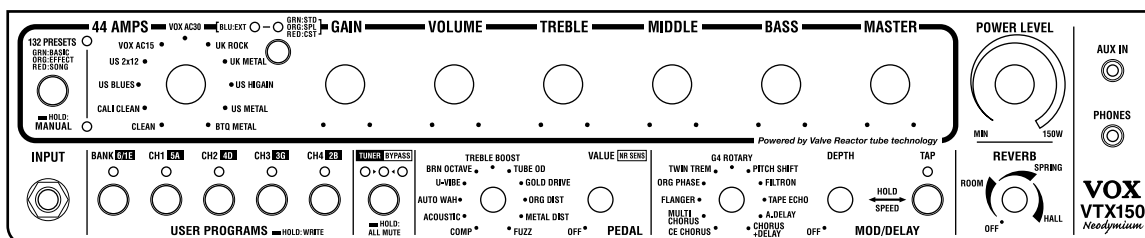
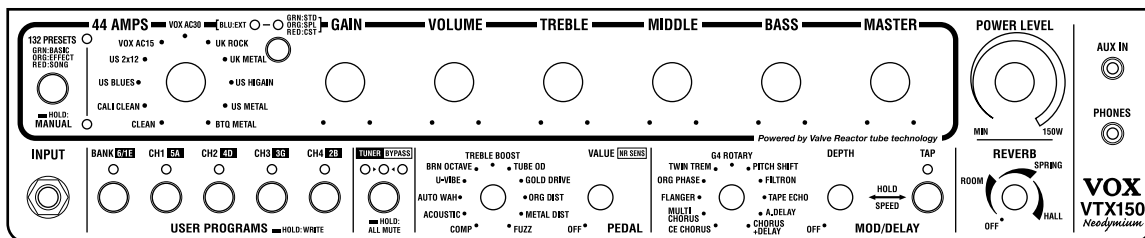
PROGRAM NAME：

NOTE:

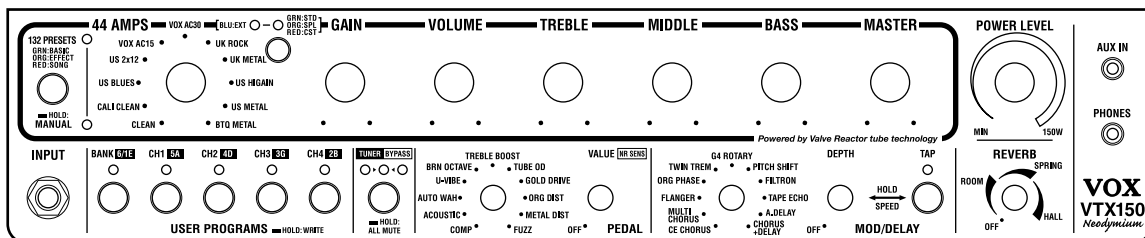
PROGRAM NAME：

NOTE:

memo

PROGRAM NAME：

NOTE:

PROGRAM NAME：

NOTE:

PROGRAM NAME：

NOTE:

保証規定（必ずお読みください）

本保証書は、保証期間中に本製品を保証するもので、付属品類（ヘッドホンなど）は保証の対象になりません。保証期間内に本製品が故障した場合は、保証規定によって無償修理いたします。

1. 本保証書の有効期間はお買い上げ日より１ケ年です。
2. 次の修理等は保証期間内であっても有償となります。
   - 消耗部品（電池、スピーカー、真空管、フェーダーなど）の交換。
   - お取扱い方法が不適当のために生じた故障。
   - 天災（火災、浸水等）によって生じた故障。
   - 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合。
   - 不当な改造、調整、部品交換などにより生じた故障または損傷。
   - 保証書にお買い上げ日、販売店名が未記入の場合、または字句が書き替えられている場合。
   - 本保証書の提示がない場合。

   尚、当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より３ケ月以内に限り無償修理いたします。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証は引き続きお使いいただけます。詳しくは、サービス・センターまでお問い合わせください。
5. 修理、運送費用が製品の価格より高くなることがありますので、あらかじめサービス・センターへご相談ください。発送にかかる費用は、お客様の負担とさせていただきます。
6. 修理中の代替品、商品の貸し出し等は、いかなる場合においても一切行っておりません。

本製品の故障、または使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するためのもので、これよりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■お願い

1. 保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。
2. 保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

VTX150
Neodymium

保証書

本保証書は、保証規定により無償修理をお約束するものです。

お買い上げ日　　　　年　　　月　　　日

販売店名

VTX150 *Neodymium*

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

修理についてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03（5355）5056

● サービス・センター：　〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12
TEL 03(5355)3537　FAX 03(5355)4470

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
//www.korg.co.jp/KID/

VOX AMPLIFICATION LTD.　9 Newmarket Court, Kingston, Milton Keynes, MK10 OAU, UK　www.voxamps.com